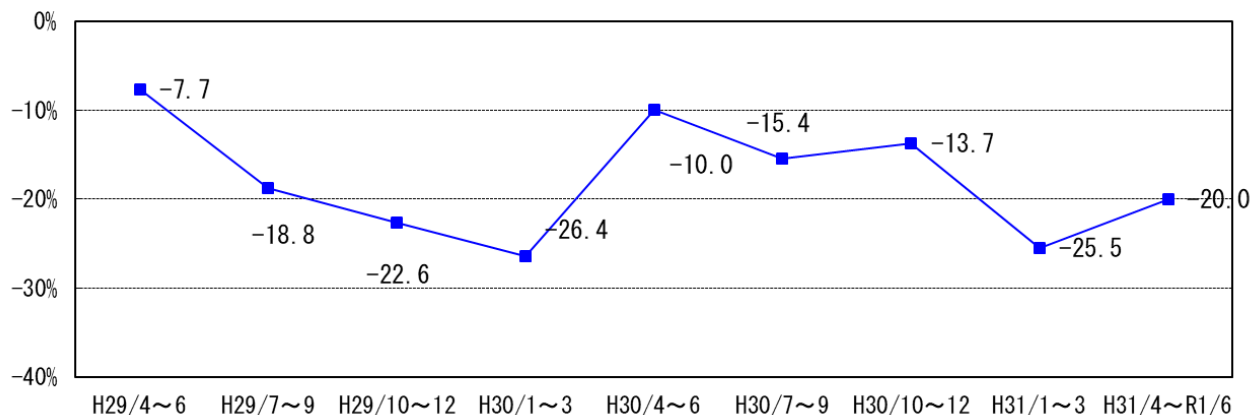


5. サービス業の動向

(1) 業況概要（前年同期比）

今期の業況DI値は、▲20.0。前期▲25.5から5.5ポイント改善された。
来期見通しは▲20.0と横ばいの見込み。

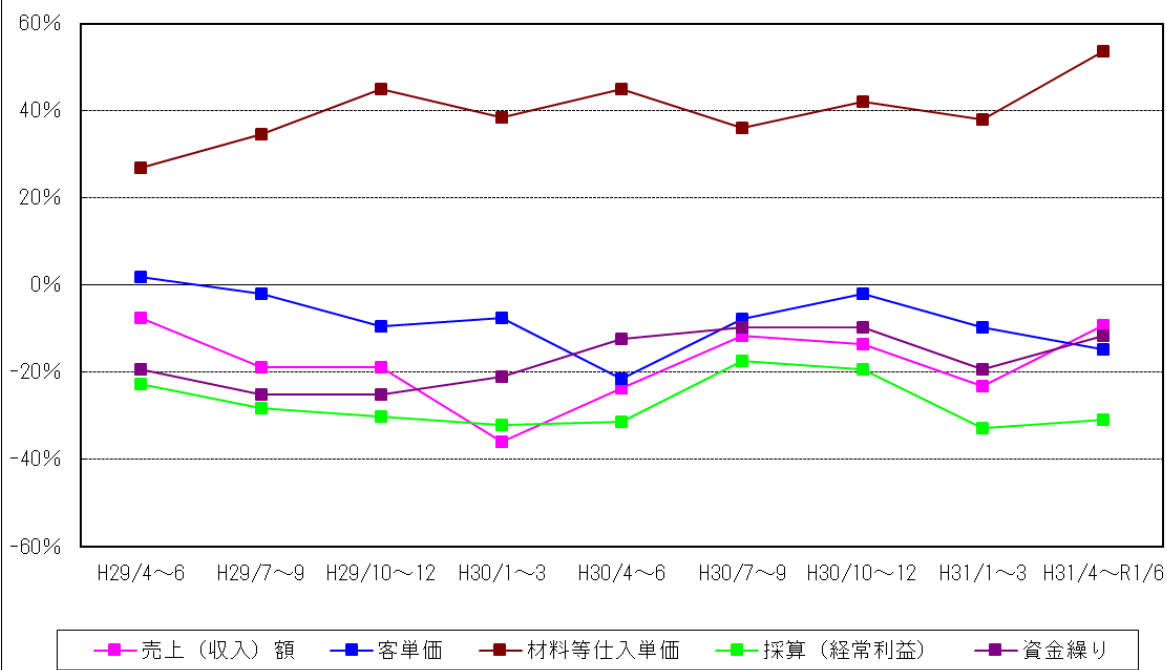
サービス業：業況（自社・前年同期比）DI



サービス業の主要景況項目 DI 値の推移（前年同期比・%）

	前々期 (30年7月~9月)	前期(A) (30年10月~12月)	今期(B) (31年1月~3月)	今期と前期の差 (B) - (A)	来期 見通し
売上(収入)額	▲13.5	▲23.1	▲9.2	13.9	▲8.9
客単価	▲2.0	▲9.6	▲14.8	▲5.2	3.6
材料等仕入単価	42.0	38.0	53.6	15.6	42.5
採算(経常利益)	▲19.3	▲32.7	▲30.9	1.8	▲20.0
資金繰り	▲9.6	▲19.3	▲11.5	7.8	▲5.6

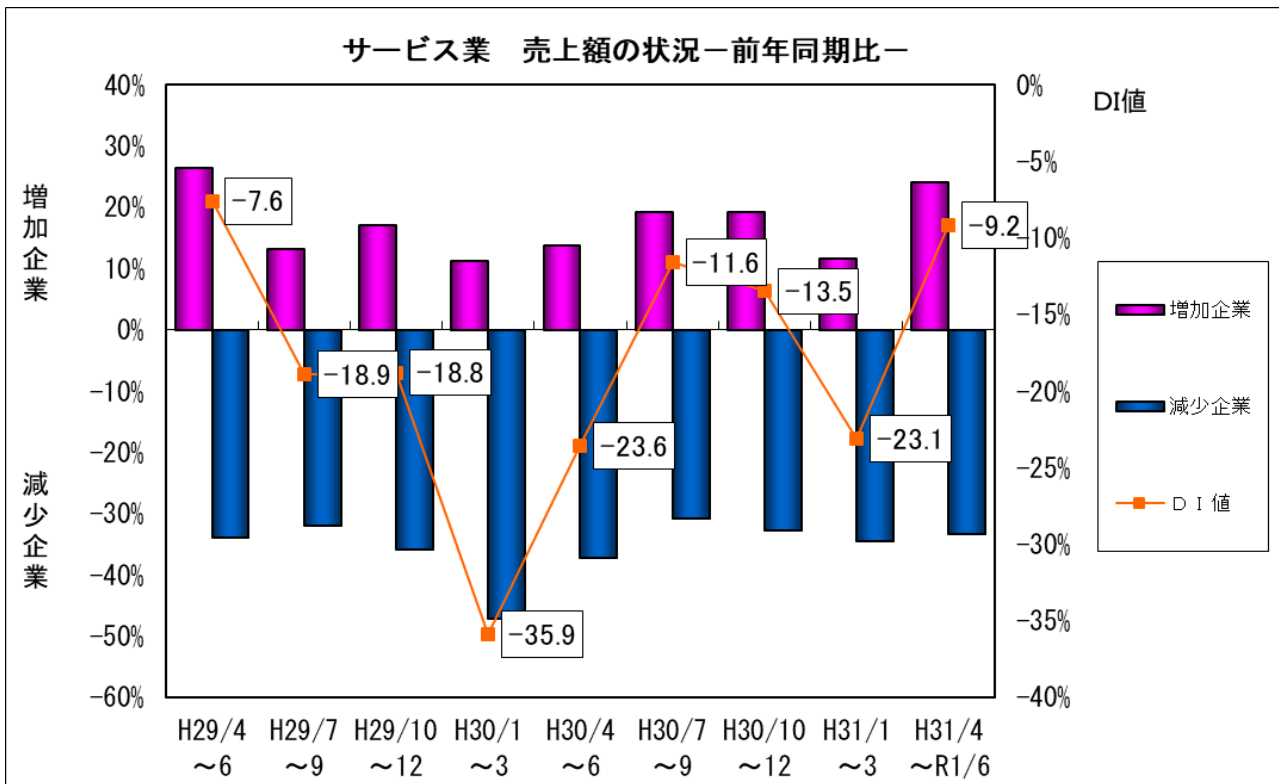
DI サービス業 主要景況項目の推移—前年同期比—



(2) 主要項目の概況

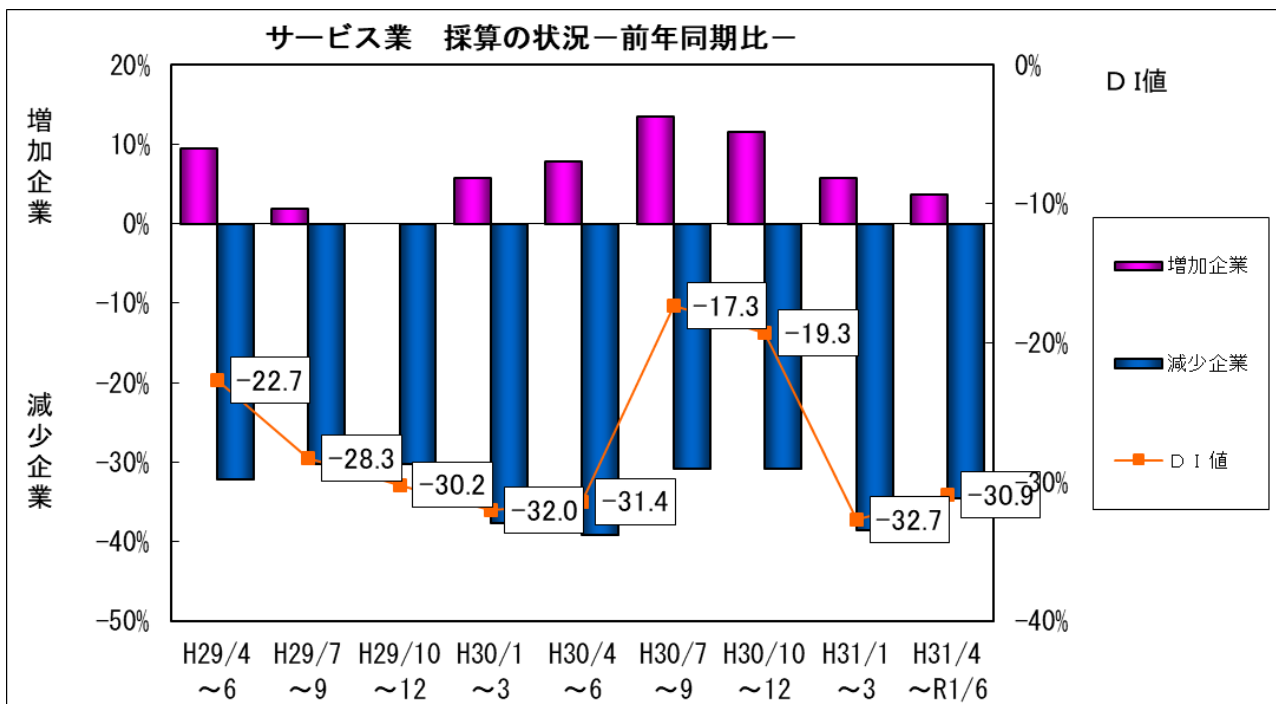
①売上（収入）額（前年同期比）

今期の売上（収入）額D I 値は、▲9.2。前期の▲23.1 から 13.9 ポイント改善された。
来期見通しは、▲8.9 とほぼ横ばいの見通し。



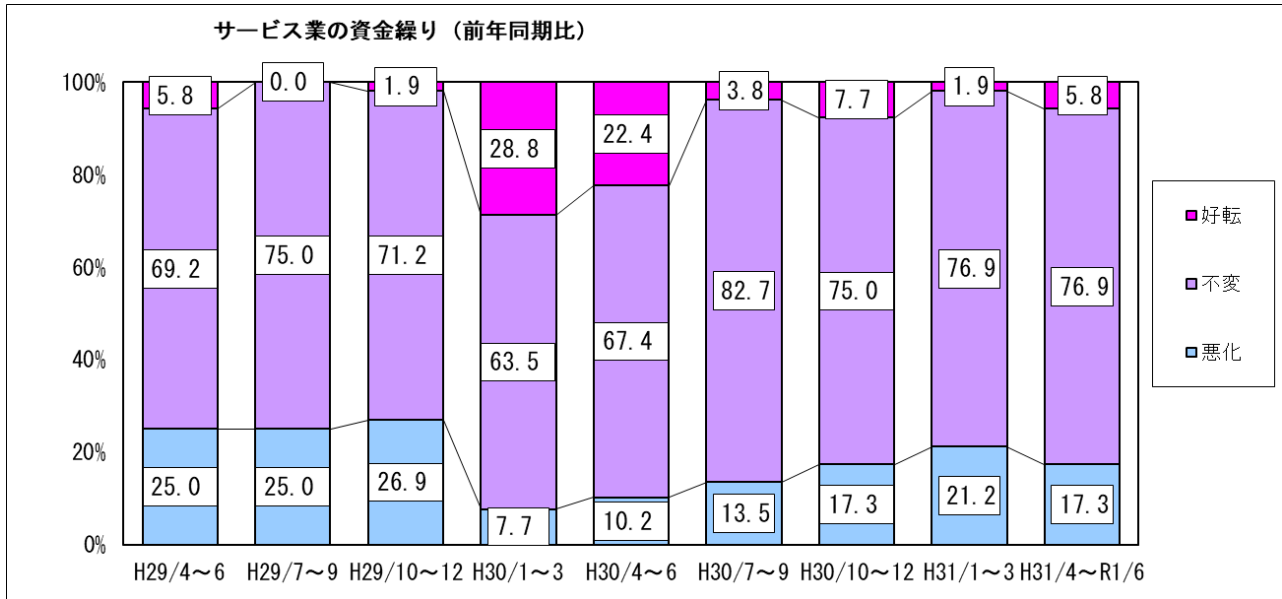
②採算（前年同期比）

今期の採算D I 値は、▲30.9。前期の▲32.7 より 1.8 ポイント上昇した。
来期見通しは、▲20.0 と改善の見込み。



③資金繰り（前年同期比）

今期の資金繰りDI値は、▲11.5。前期の▲19.3から7.8ポイント改善した。来期見通しは▲5.6とさらに回復する見込み。

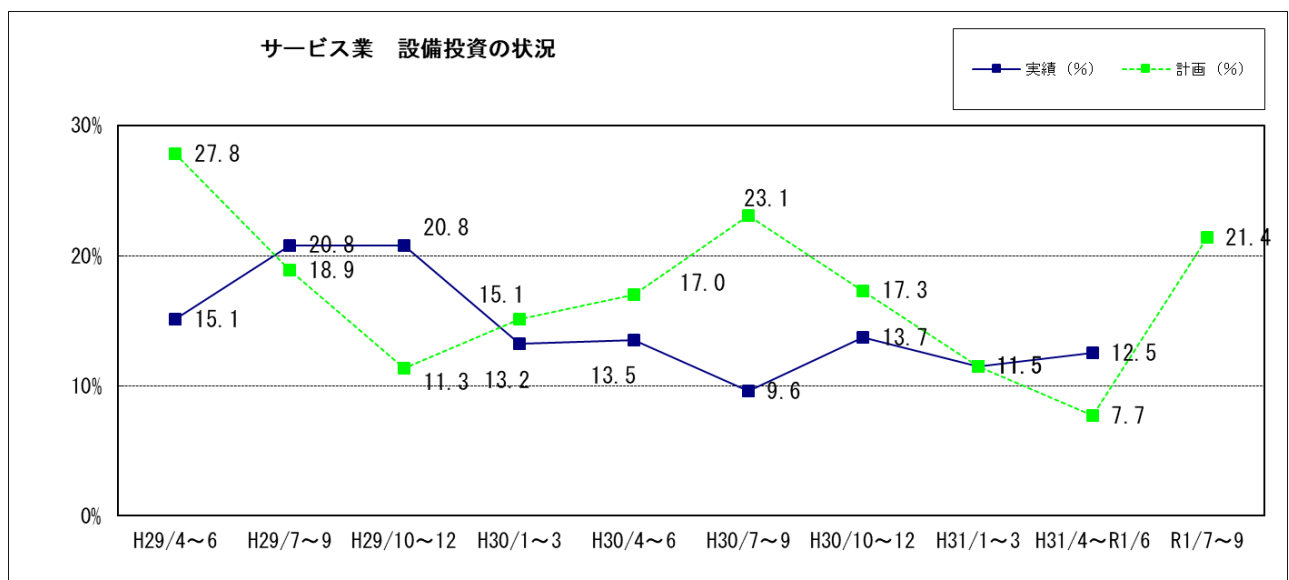


④設備投資

新規設備投資の状況

	あり	投資内容								なし
		土地	建物	サービス	車両・運搬具	付帯施設	OA機器	福利厚生施設	その他	
前期実施 (実数)	6	1	1	2	1	0	1	0	1	46
(%)	11.5	16.7	16.7	33.3	16.7	0.0	16.7	0.0	16.7	88.5
今期実施 (実数)	7	1	0	0	5	1	0	0	1	49
(%)	12.5	14.3	0.0	0.0	71.4	14.3	0.0	0.0	14.3	87.5
来期計画 (実数)	12	0	3	4	1	3	2	0	3	44
(%)	21.4	0.0	25.0	33.3	8.3	25.0	16.7	0.0	25.0	78.6

今期設備投資を実施した企業は7社（12.5%）。前期（平成31年1~3月期）実施企業6社（11.5%）と1社増加。来期は12社（21.4%）が設備投資を計画している。

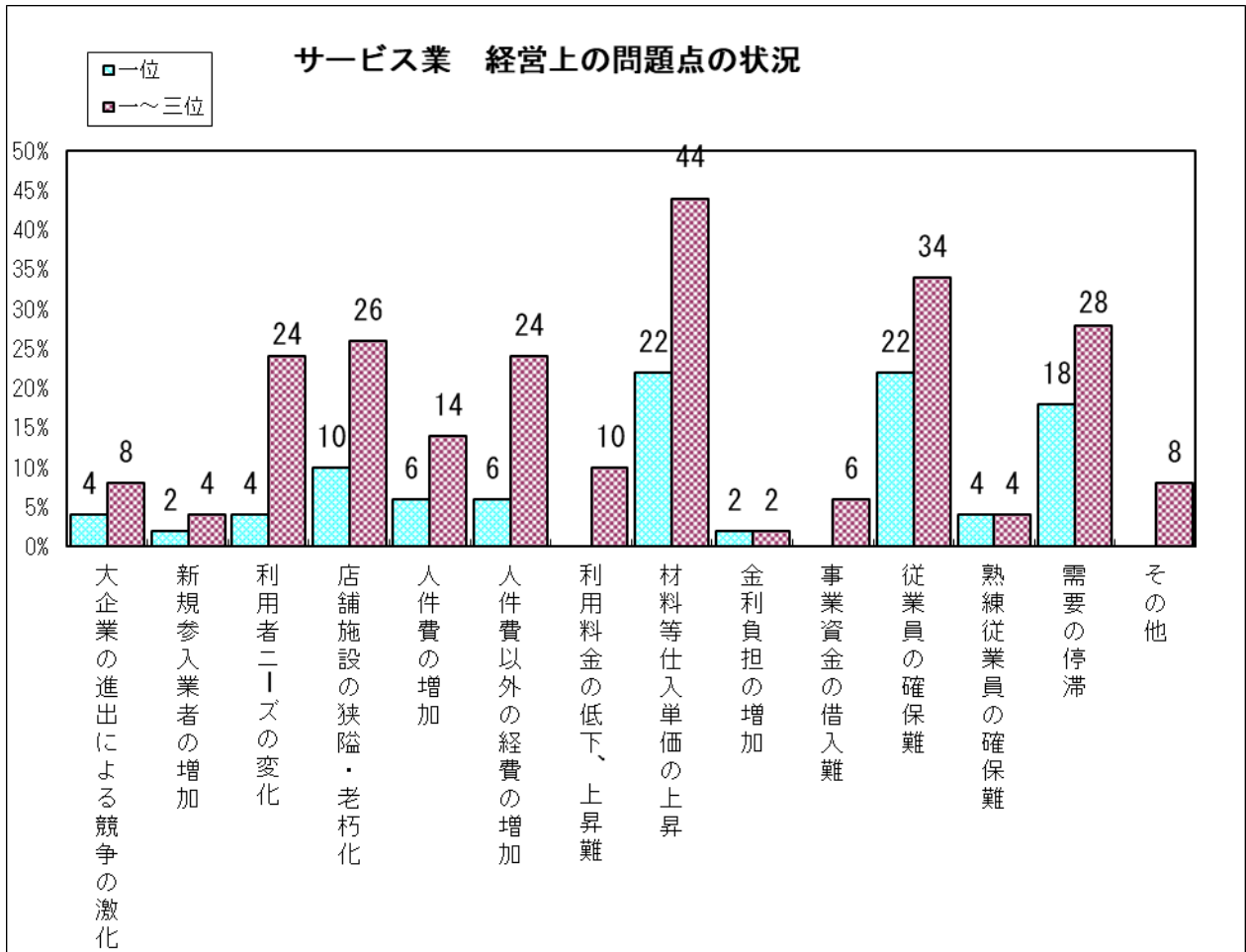


⑤経営上の問題点

今期、サービス業が経営上の問題点として一位から三位にあがる項目は、

- ・ 「需要の停滞」 (前期 34.8%→今期 28.0%)
- ・ 「利用者ニーズの変化」 (前期 32.6%→今期 24.0%)
- ・ 「材料等仕入単価の上昇」 (前期 30.4%→今期 44.0%)
- ・ 「店舗施設の狭隘・老朽化」 (前期 26.1%→今期 26.0%)
- ・ 「従業員の確保難」 (前期 23.9%→今期 34.0%)
- ・ 「人件費以外の経費の増加」 (前期 23.9%→今期 24.0%)

となっている。



以上